

「川上で育たなければ 三太郎は生まれなかった」

「津市中心部から車で1時間半。旧美杉村の川上地区の奥まで進むと携帯電話の電波は途切れた。桃太郎、金太郎、浦島太郎……。昔話でおなじみのキャラクターが、コミカルな掛け合いを繰り広げるCM「三太郎シリーズ」の源流がここにある。」今年の元旦の毎日新聞の記事です。



このCMを生み出したのは旧美杉村（現津市美杉町）川上地区出身の篠原 誠（しのはら まこと）さんである。篠原さんの母校は同級生が6人。男の子3人は、川で釣りをしたり山に秘密基地を作ったりしていつも一緒に遊んでいたそうです。2人なら喧嘩になるが3人ならバランスが保たれる。そんな子どもの頃の経験があるから三太郎シリーズのセリフが苦も無く書けるそうです。篠原さんと同級生の2人の男の子は、現在、愛知県庁、奈良県の会社でそれぞれの道を歩んでいます。

篠原さんの「僕は、何かあったら帰れる美杉というオリジン（起源）があったから、新しい世界に飛び込めた。根っこがあれば強いんじゃないでしょうか。」という言葉が印象に残りました。

加太小学校の子どもたちにとって、生まれ育ったこの自然豊かな加太の地が、いつまでも心のよりどころと思えるように、保護者や地域の皆様と連携を深め、教職員一同一丸となって教育活動を進めて参りたいと思います。

「1年の計は元旦にあり」昨年末の終業式に子どもたちに伝えた言葉が改めて思い浮んできました。